



株式会社北川鉄工所

# 2025年度 第2四半期決算説明会資料

2025年11月20日

株式会社北川鉄工所

証券コード:6317(東証スタンダード)

01

# 会社概要

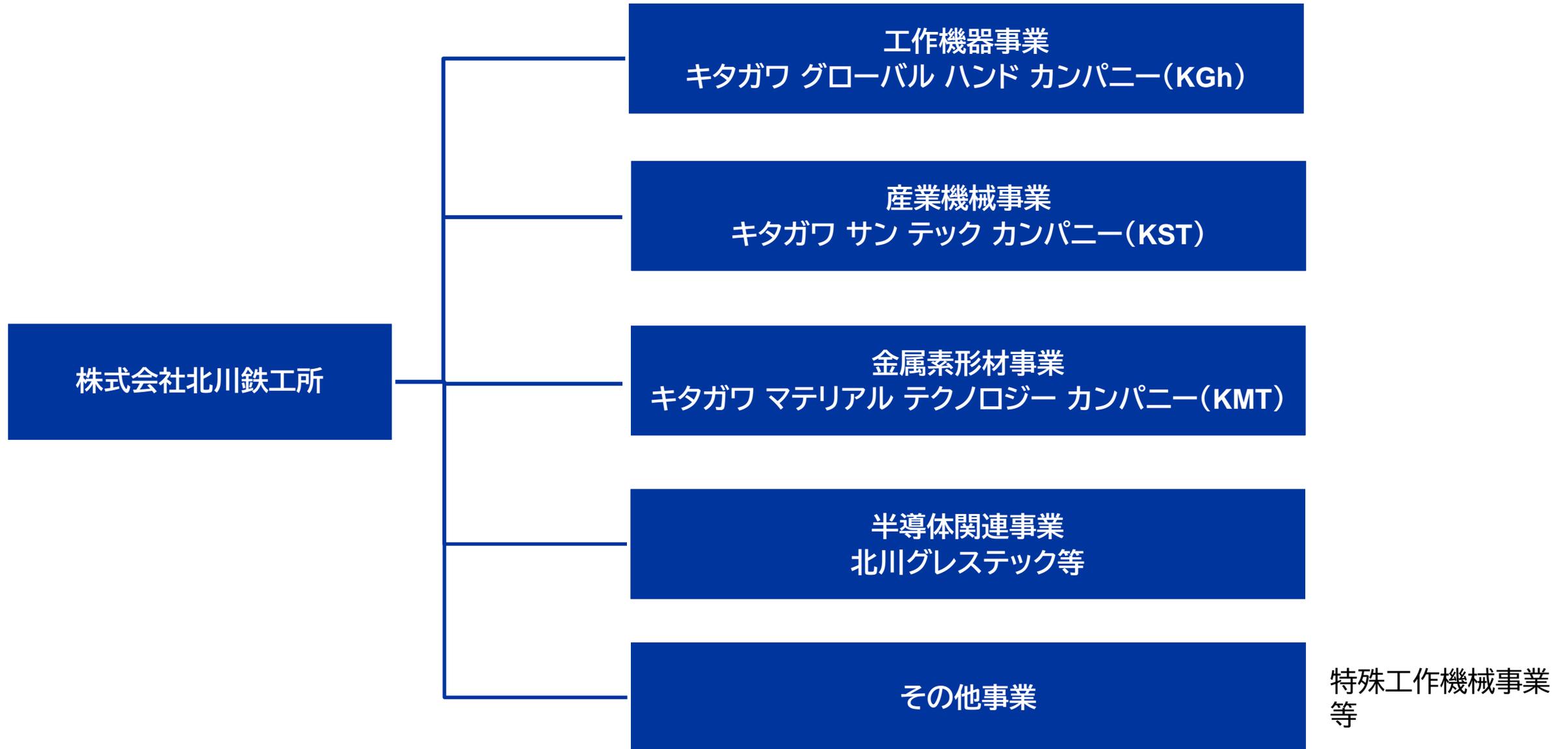
会社名	株式会社北川鉄工所
本社所在地	広島県府中市元町
代表者	代表取締役社長 岡野 帝男
創業	1918年3月
従業員数	グループ合計 : 2,275名 内単独 : 1,410名 (2025年3月末)
事業規模	連結売上高 : 572億円(2024年度) 連結営業利益: 18億円(2024年度)
事業内容	工作機器 半導体関連事業 産業機械 金属素形材
主要関係会社	KITAGAWA MEXICO,S.A. DE C.V. 北川グレステック株式会社

## 企業ビジョン

株式会社北川鉄工所は  
ものづくりという業にあって

お客様の喜びを我々の喜びとし、  
素直な心を尊び、勇気ある行動を敬い、  
自己実現の場として、自律した活力ある  
リーダーを育成し、  
技術を誇り、未知なる世界に挑戦する

**Quality Business** を実践する集団である。



その他 特殊工作機械事業等  
10億円(1.8%)

半導体関連事業

25億円



工作機器事業

KGhカンパニー  
90億円



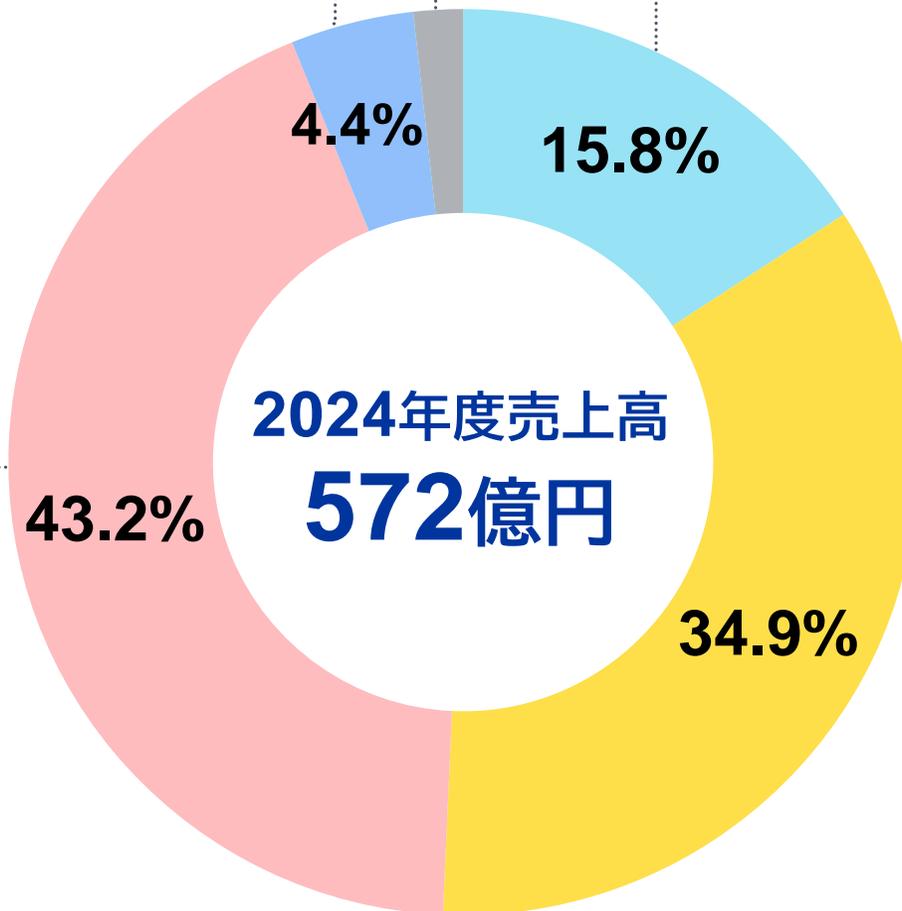
金属素形材事業

KMTカンパニー  
247億円



産業機械事業

KSTカンパニー  
200億円



## 事業の概要

ワークホールディング(素材を固定する製品)の開発・製造・販売  
- 「つかむ、把握する」コア技術をベースとした製品を展開

## 事業の強み

- 品質に裏付けされた世界的なブランド力
- 全世界40ヶ国、50拠点以上の販売網

## 工作機械のコア部品製造

### ■ 旋盤用チャック



国内シェア**60%**

高精度・高耐久

主要国内メーカー機へ標準搭載

### ■ その他様々な工作機器を製造

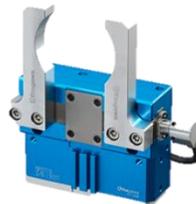
NC円テーブル



パワーバイス



ロボットハンド



## 世界に広がる販売網



● 海外代理店 ● 海外販売会社 ● 製造拠点

## 事業の概要

コンクリートプラント、建設機械、環境関連機器、立体駐車場の開発・製造・販売

- コア技術である「練り混ぜる」、「巻き取る」、「つり上げる」をベースとした製品を展開

## 事業の強み

- “高い練る技術”、“レイアウトの自由度”により **生コンプラントシェアトップクラス**
- 数々の建設機械の**共同開発・高い品質**により培われた **大手ゼネコンとの強固な信頼関係**
- **特許技術**: 駐車場内に柱の少ない**スーパーロングスパン立駐**
- ニーズに応える製品を生み出す**開発力**

## トップシェア商品群

### ■ コンクリートプラント

国内シェア**30%**



コンクリートミキサ  
ジクロスネオ



### ■ 建設用クレーン ビルマン

国内シェア**60%**



### ■ 立体駐車場

国内シェア**20%**  
(アウトレットモール用**40%**)



## 事業の概要

- 金属素材・鋳造技術の開発、鋳造品の製造・販売
  - 素材製造+加工の**一貫体制**で製品を供給
  - **国内外に生産拠点**(広島、埼玉、メキシコ)
- 大手自動車メーカー、建機・農機メーカーに納入

## 事業の強み

- 硬度、形状など高難易度の部品を量産できる**技術力**
- 高度な**品質管理**、安定した**供給能力**
- 特定のメーカーに属していない**独立系メーカー**であり  
様々なメーカーに製品供給可能

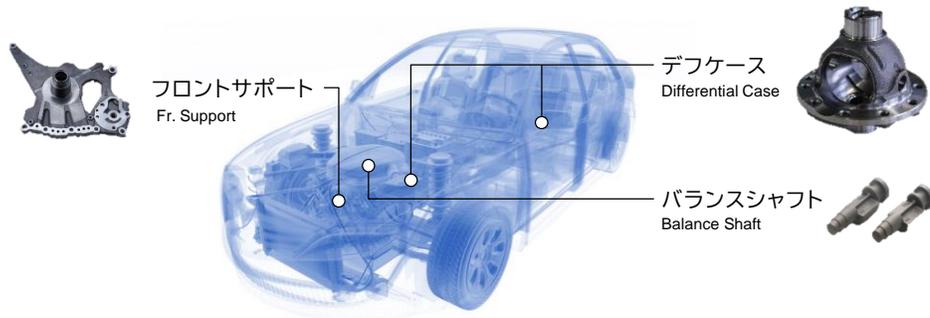
## 様々な鋳物部品の製造が可能

### ■ 売上構成

自動車部品(デフケース・ミッション部品) **57%**  
 建機・農機部品(足回り部品・エンジン部品) **43%**

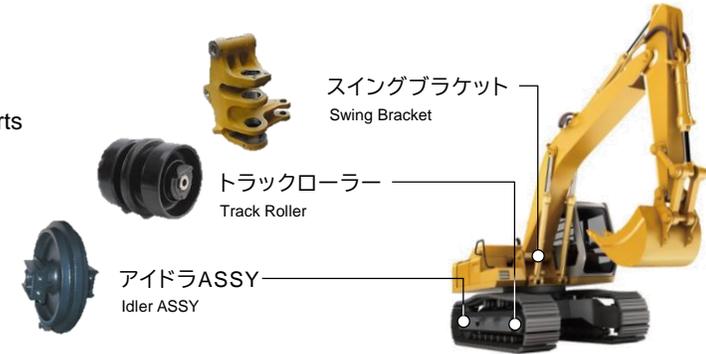
### ■ 自動車部品 Auto Parts

世界で生産される自動車の  
**15台に1台はkitagawaの部品を搭載**



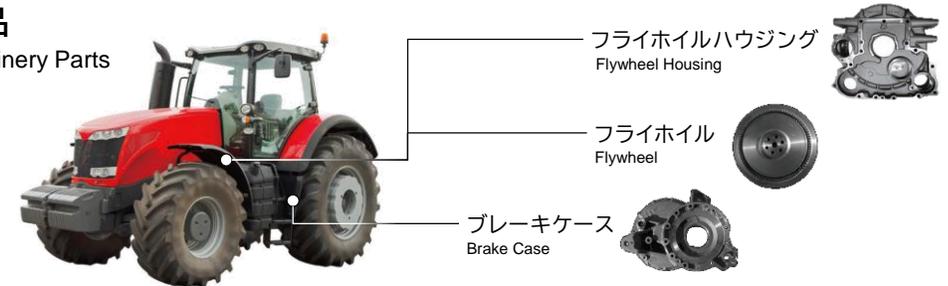
### ■ 建設機械部品

Construction Machinery Parts



### ■ 農業機械部品

Agricultural Machinery Parts



## 事業の概要

- **2023年 M&Aにより半導体関連事業へ進出**  
2023年7月 ケメットジャパン(株)及びシステム精工(株)の株式を100%取得  
2024年4月 2社を合併し北川グレステック(株)設立
- **半導体およびHDD向け製造装置・研磨消耗品の製造・販売**

## 事業の強み

- 世界初のHDD**自動**研磨装置開発に成功した**技術とノウハウ**  
⇒削る・磨く・運ぶ・洗う・見る 各工程において  
**世界レベルの技術力**  
⇒**自動化、省人化ライン**等を**オーダーメイド**で提供可能

## 世界に通用する技術力

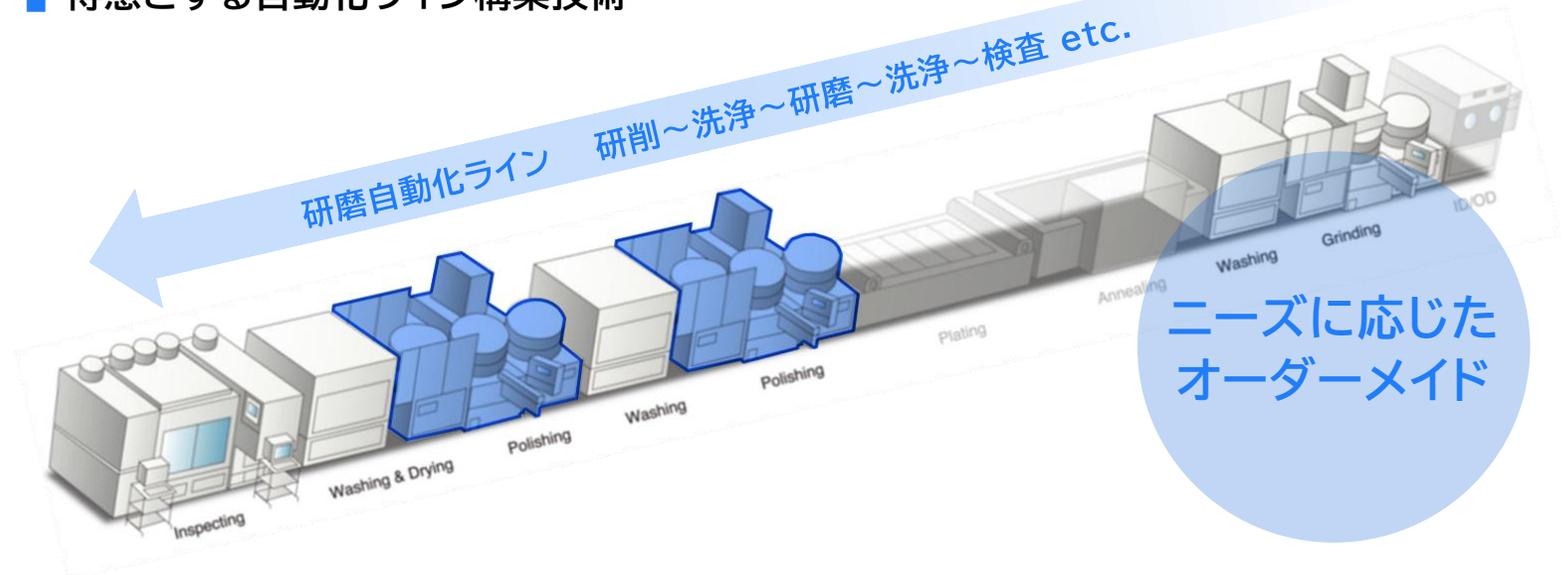
### ■ HDD用磁気ディスクの自動研磨装置



世界シェア **80%**

世界初の自動化

### ■ 得意とする自動化ライン構築技術



02

# 2025年度 第2四半期決算報告

- 売上高は、産業機械事業の増収を主因に前年同期比**6.4億円増の290億円**
- 営業利益は、産業機械事業及び金属素形材事業の収益性改善を主因に前年同期比**9.7億円増の13.7億円**
- 親会社株主に帰属する**中間純利益**は、固定資産売却益の計上により前年同期比**19.8億円増の23.5億円**

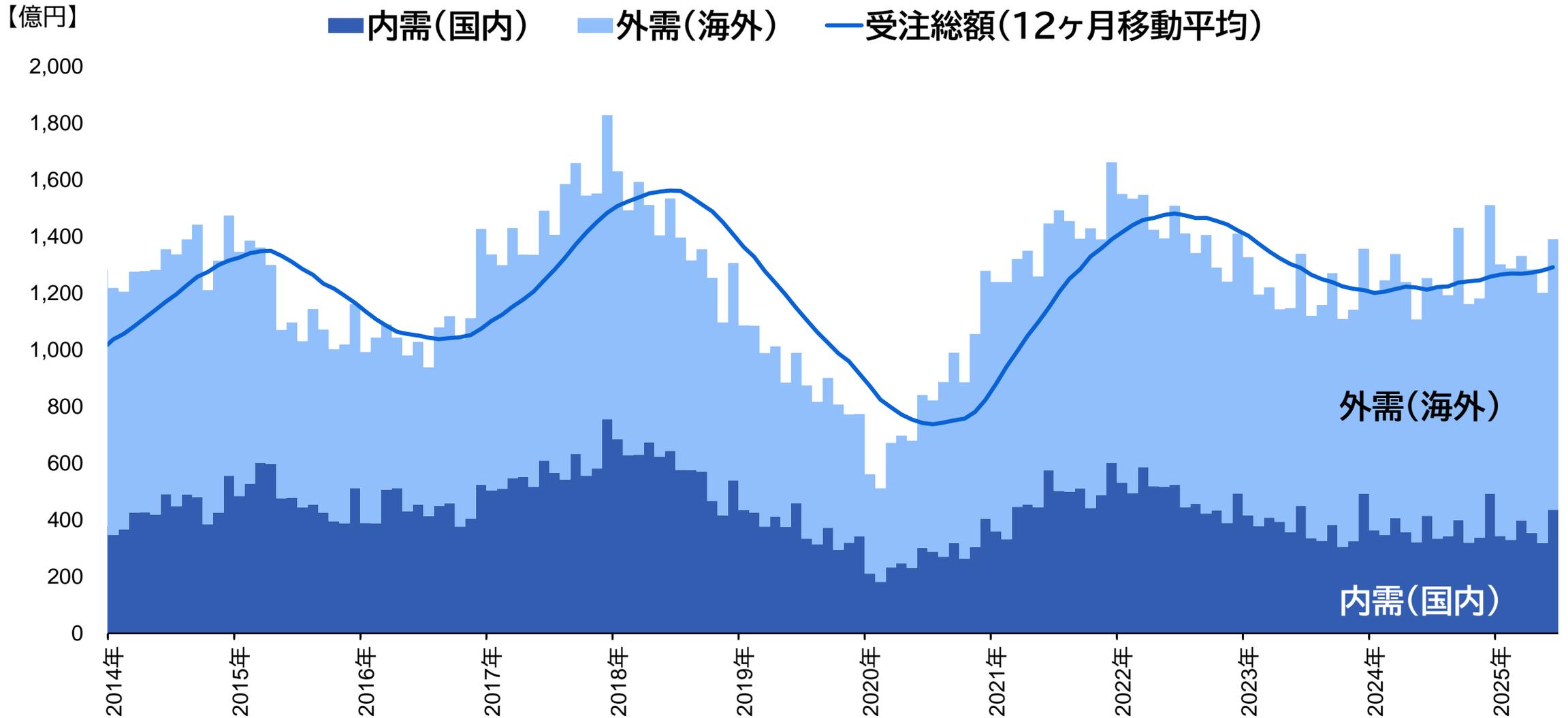
(百万円)

	2024年度2Q	2025年度2Q	前年同期比	増減率
売上高	28,443	<b>29,083</b>	640 	2.3%
営業利益	402	<b>1,373</b>	971 	241.6%
営業利益率(%)	1.4	<b>4.7</b>	3.3pt 	—
経常利益	734	<b>1,331</b>	597 	81.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	370	<b>2,355</b>	1,985 	535.9%

(百万円)

セグメント		2024年度 2Q	2025年度 2Q	前年同期比	増減率
工作機器事業 (KGh)	売上高	4,315	<b>4,833</b>	518	12.0%
	営業利益	279	<b>196</b>	△ 83	△ 29.6%
産業機械事業 (KST)	売上高	9,866	<b>11,984</b>	2,118	21.5%
	営業利益	520	<b>1,610</b>	1,090	209.4%
金属素形材事業 (KMT)	売上高	12,929	<b>11,375</b>	△ 1,554	△ 12.0%
	営業利益	△ 242	<b>112</b>	354	—
半導体関連事業 (KGT)	売上高	946	<b>753</b>	△ 193	△ 20.4%
	営業利益	174	<b>6</b>	△ 168	△ 96.2%
その他事業	売上高	384	<b>136</b>	△ 248	△ 64.6%
	営業利益	△ 11	<b>△ 56</b>	△ 45	—
共通費用	営業利益	△ 318	<b>△ 496</b>	△ 178	—
合計	売上高	28,443	<b>29,083</b>	640	2.3%
	営業利益	402	<b>1,373</b>	971	241.6%

## 工作機械受注推移

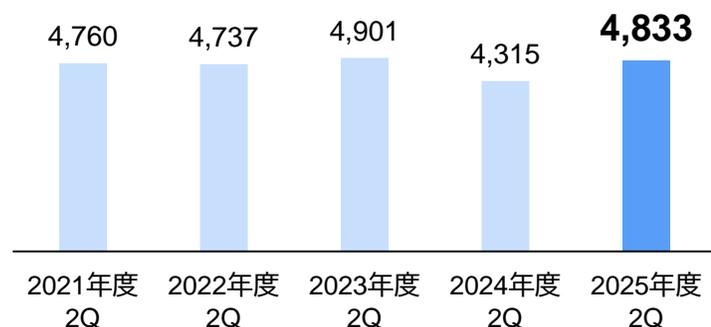


(百万円)

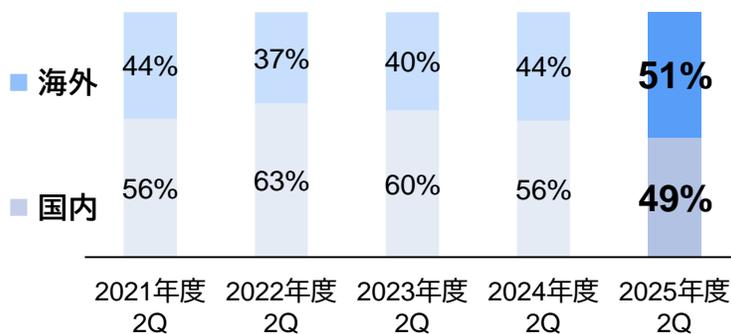
	2024年度2Q	2025年度2Q	前年同期比	増減率
売上高	4,315	<b>4,833</b>	518	12.0%
営業利益	279	<b>196</b>	△83	△29.6%
利益率(%)	6.5	<b>4.1</b>	△2.4pt	—

## ■ 売上高推移

(百万円)

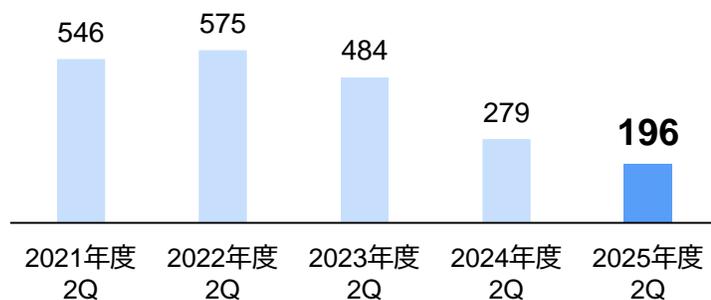


## ■ 国内・海外売上比率推移

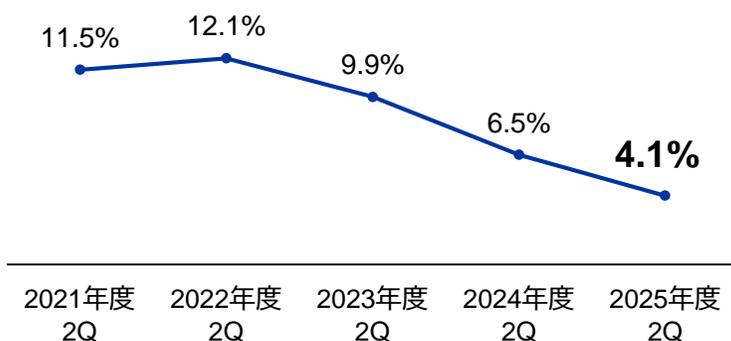


## ■ 営業利益推移

(百万円)



## ■ 営業利益率推移



### 日本国内

減収 (売上高前年同期比△1.6%)

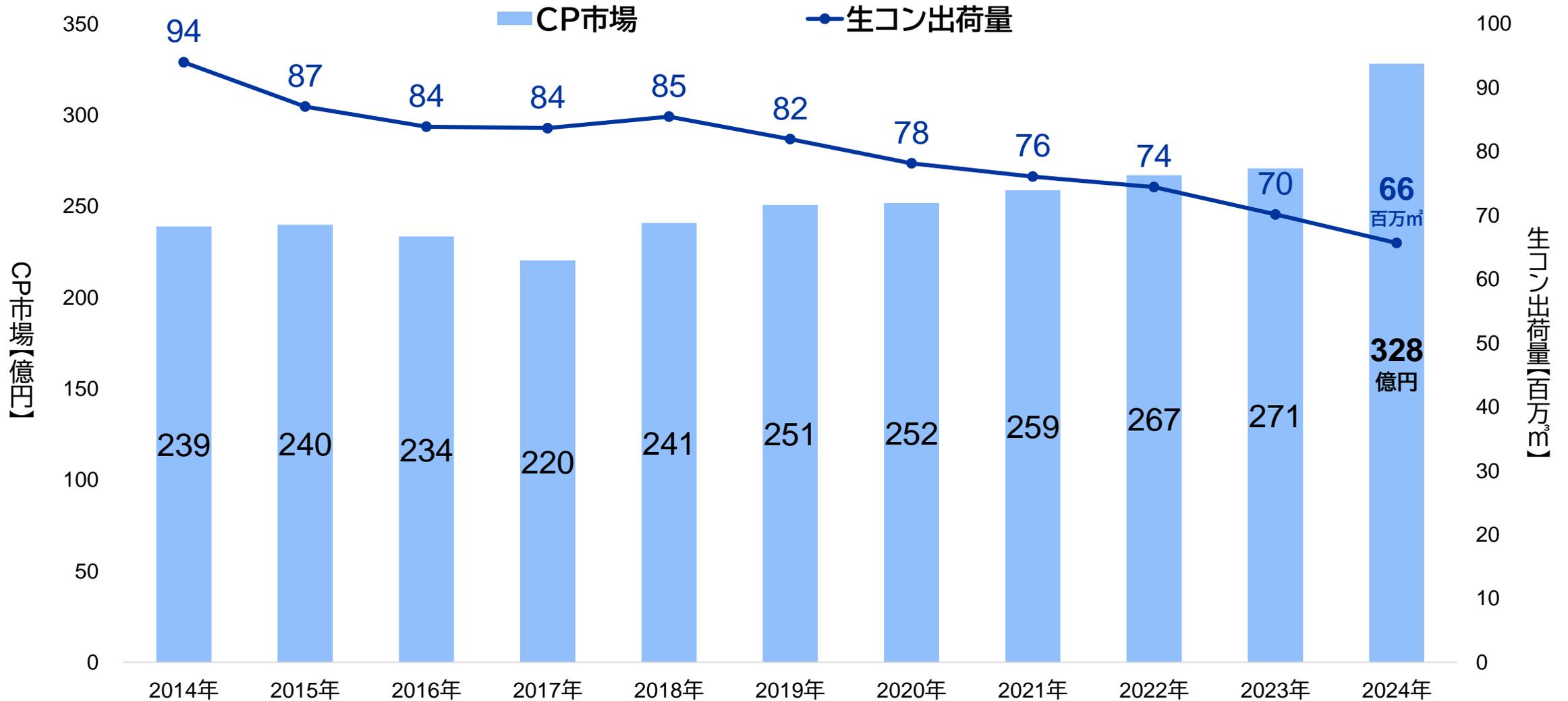
- 自動車産業減速によるデザインチャック販売伸び悩みにより減収

### 海外

増収 (売上高前年同期比+29.2%)

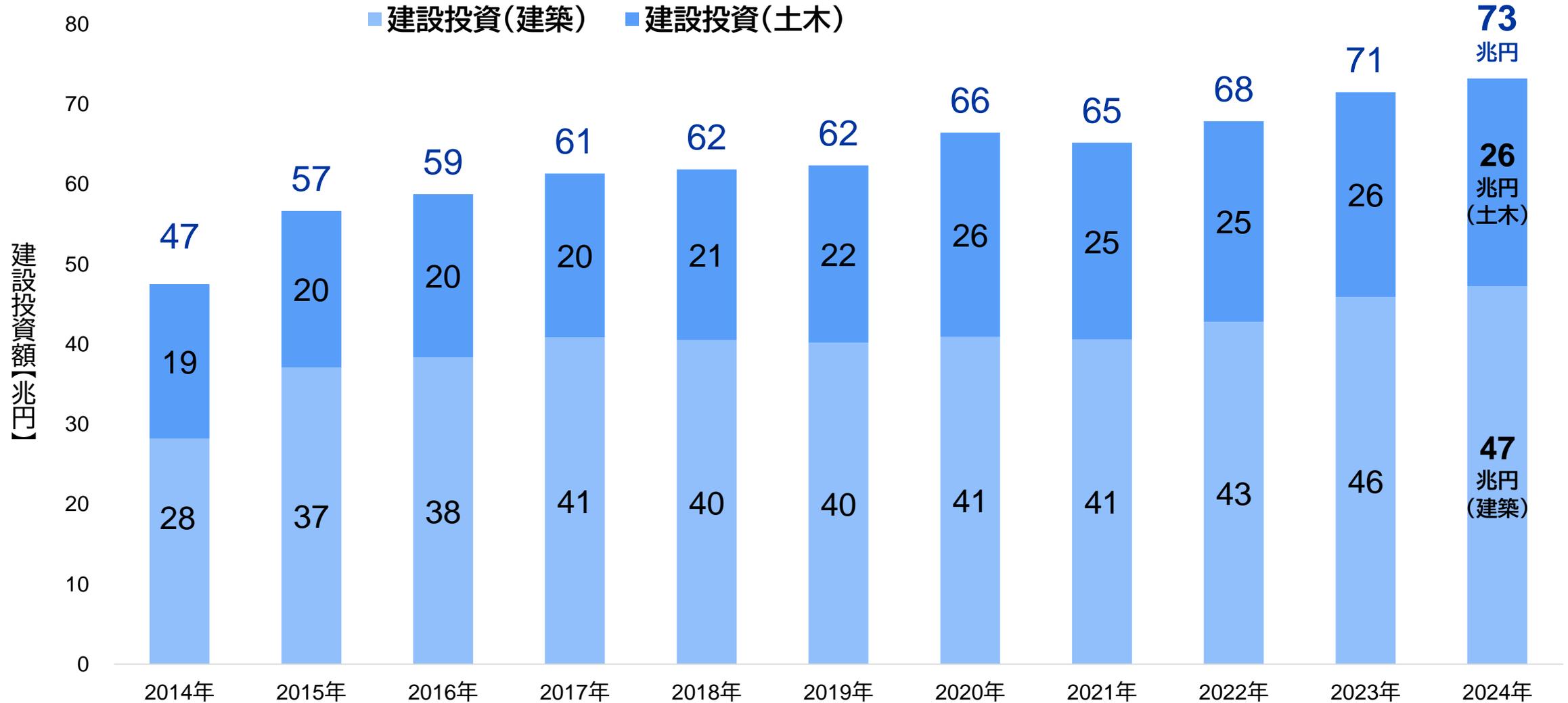
- インド、中国向けの受注増加などにより増収

## 全国生コン出荷量・CP販売高推移



資料：全国生コン工業組合連合会、建設機械工業会

## 全国建設投資推移

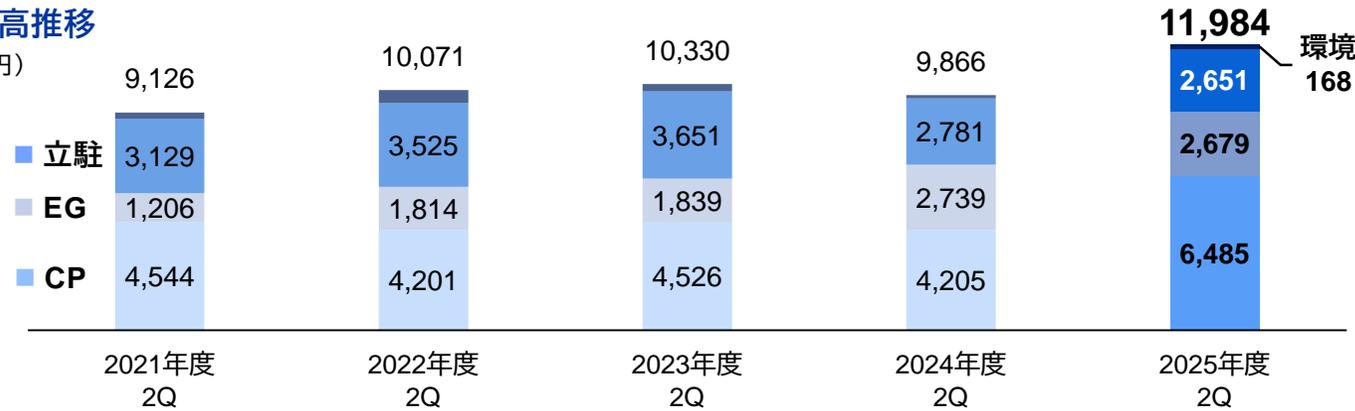


(百万円)

	2024年度2Q	2025年度2Q	前年同期比	増減率
売上高	9,866	<b>11,984</b>	2,118	21.5%
営業利益	520	<b>1,610</b>	1,090	209.4%
利益率(%)	5.3	<b>13.4</b>	8.1pt	—

## 売上高推移

(百万円)

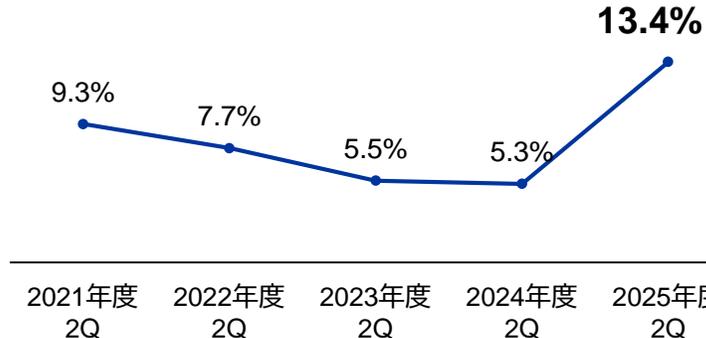


## 営業利益推移

(百万円)



## 営業利益率推移



## コンクリートプラント(CP)

増収(売上高前年同期比+54.2%)

- 生コン単価上昇による旺盛なプラント建替え需要により増収
- メンテナンス需要も好調に推移

## 荷役機械(EG)

減収(売上高前年同期比△2.2%)

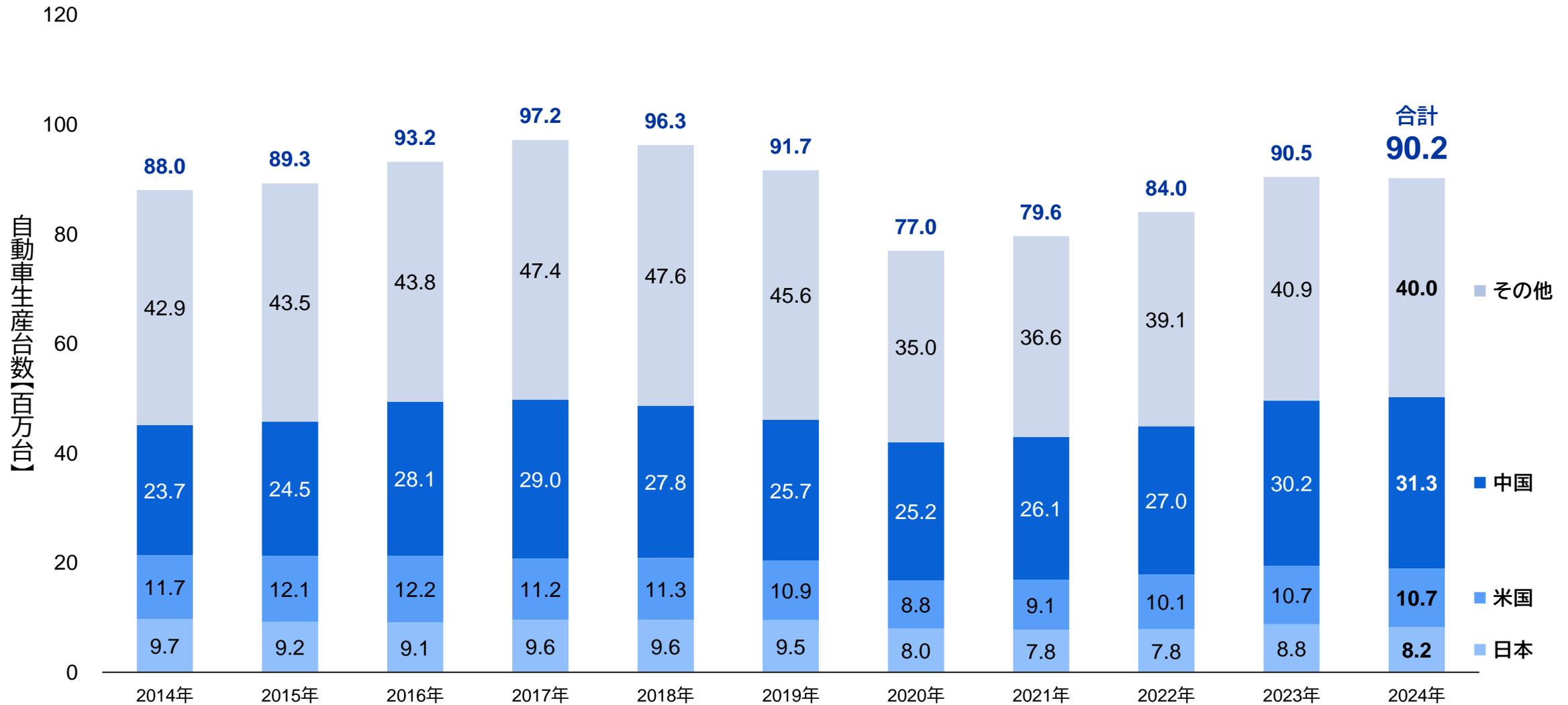
- 一部案件の納期期ずれ及びインフラ向け荷役機械の案件減少により減収

## 立体駐車場

減収(売上高前年同期比△4.7%)

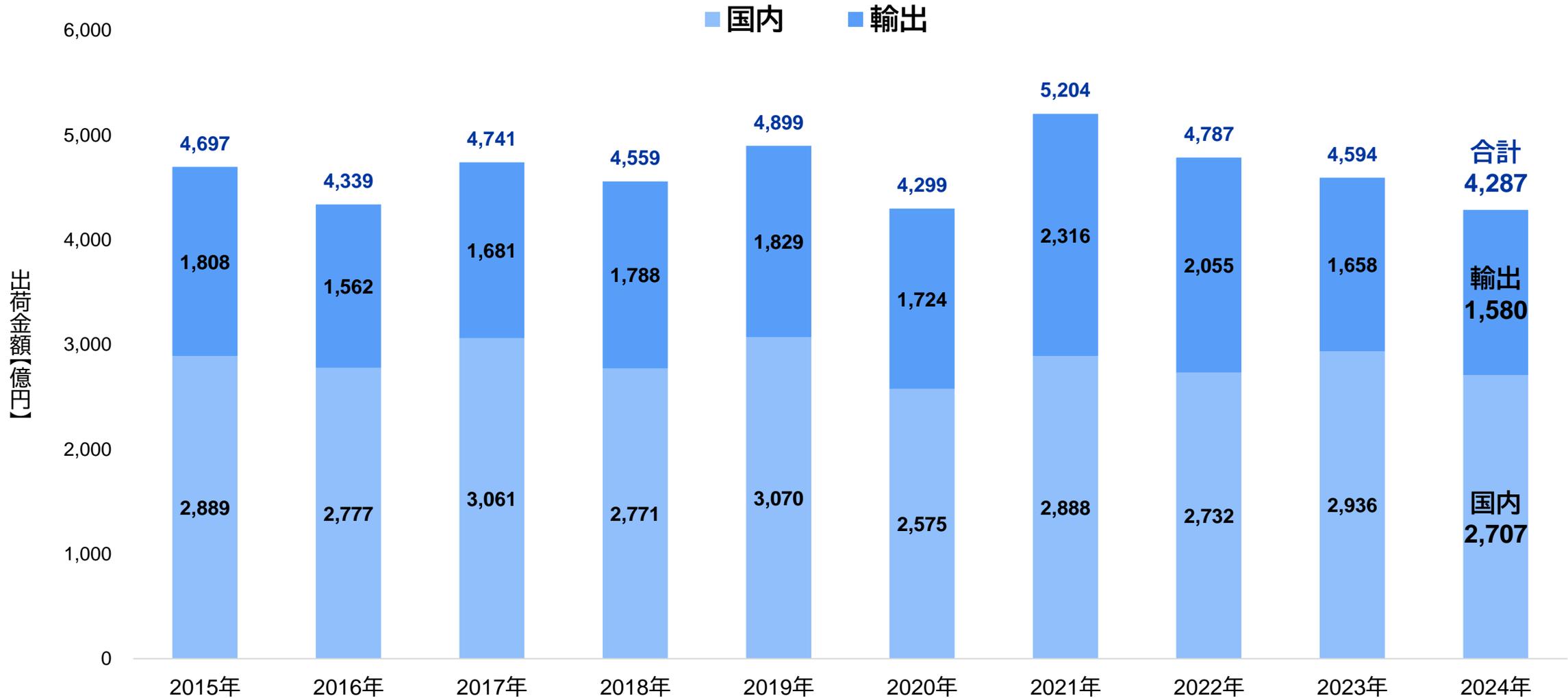
- 材料費・人件費の高止まりによる計画見直しや延期の増加により減収

## 自動車生産台数推移

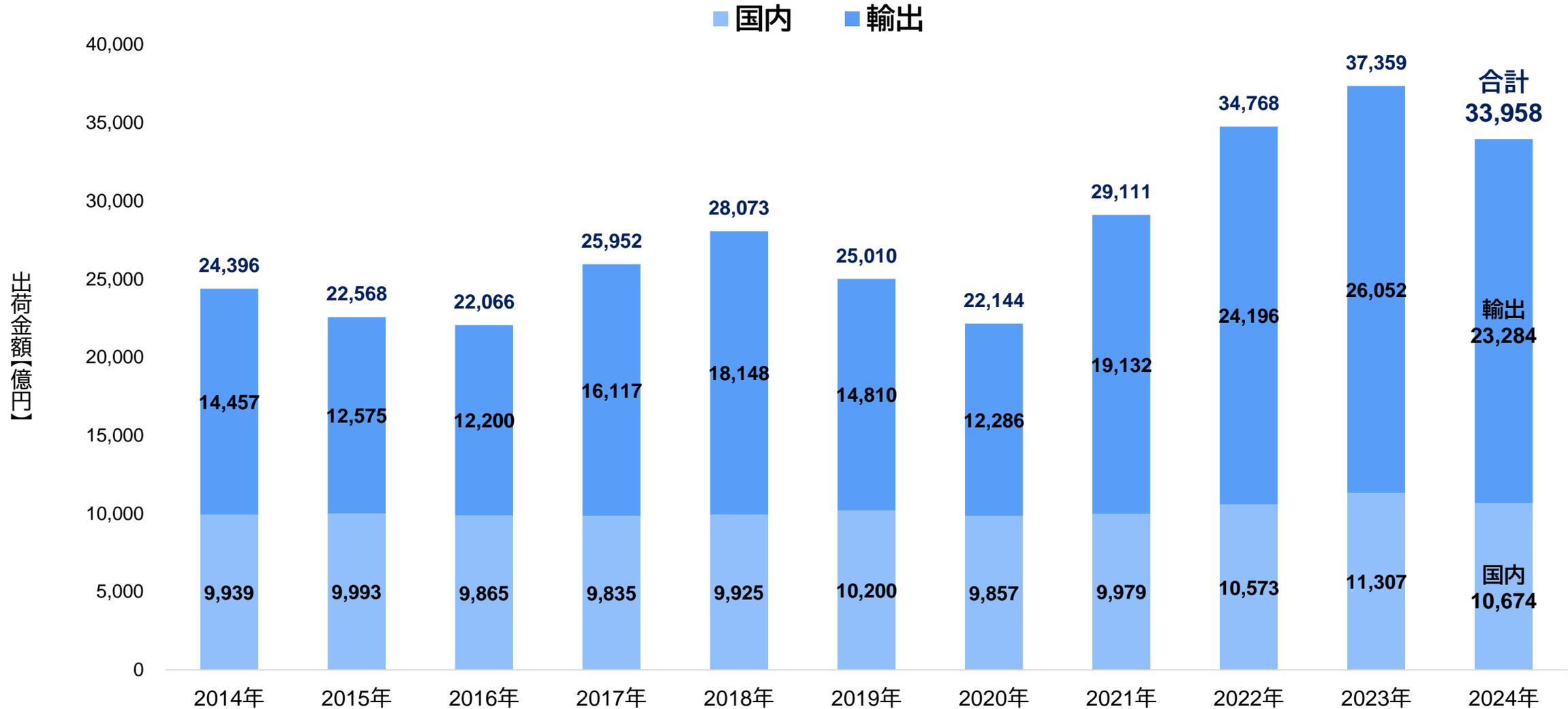


資料：MarkLines Co., Ltd より

## 農業機械出荷実績推移



## 建設機械出荷実績推移



(百万円)

	2024年度2Q	2025年度2Q	前年同期比	増減率
売上高	12,929	<b>11,375</b>	△1,554	△12.0%
営業利益	△242	<b>112</b>	354	—
利益率(%)	△1.9	<b>1.0</b>	2.9pt	—

## 売上高推移

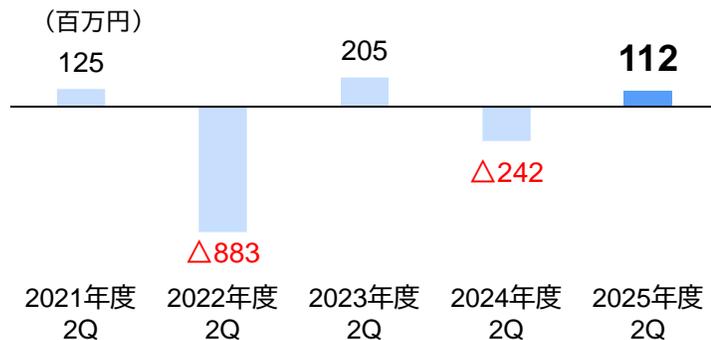


### 日本国内

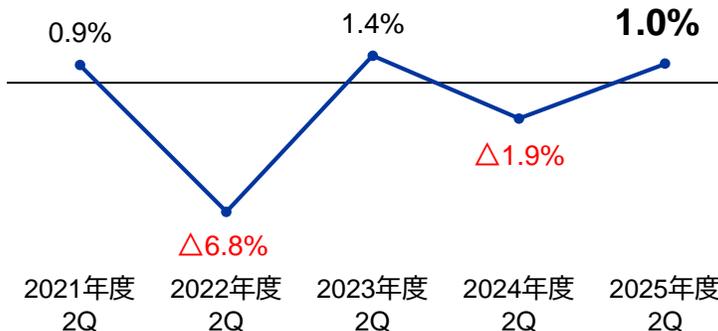
**減収 (売上高前年同期比△5.5%)**

- エンジン車向け部品、農業機械部品の受注減少により減収

## 営業利益推移



## 営業利益率推移



### 海外(メキシコ)

**減収 (売上高前年同期比△24.3%)**

- エンジン車向け部品の受注減少により減収

## ● KMEX:メキシコ子会社

(百万円)

	2024年度2Q	2025年度2Q	前年同期比	増減率
売上高	3,612	<b>2,733</b>	△879	△24.3%
営業利益	△338	<b>△147</b>	191	—
当期純利益	△424	<b>△260</b>	164	—

- エンジン車向け部品の受注減少により減収
- コストダウン施策や人員数の最適化により収益改善

## ● KTC:タイ子会社\*

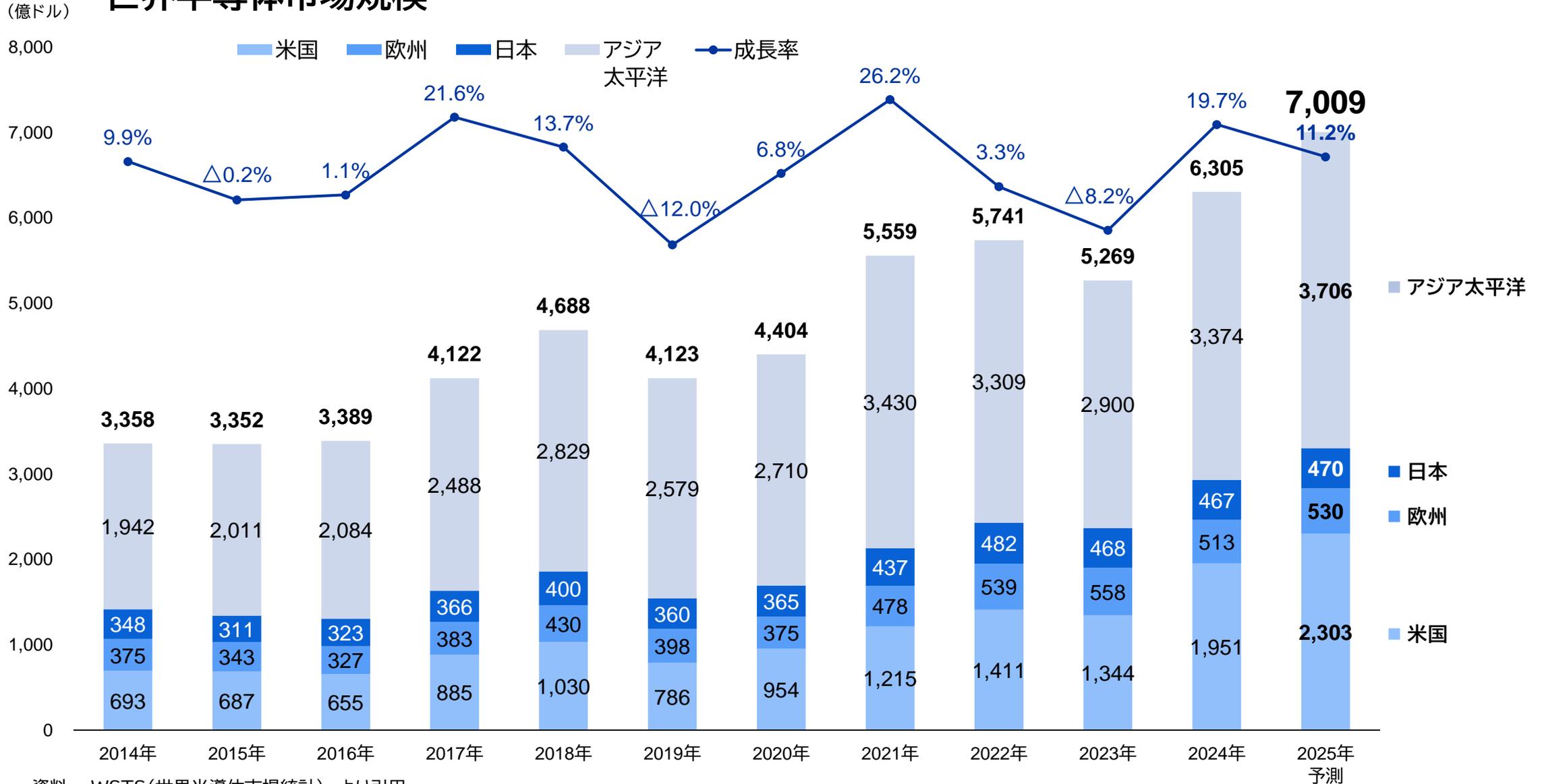
(百万円)

	2024年度2Q	2025年度2Q	前年同期比	増減率
売上高	167	—	△167	—
営業利益	△74	<b>△33</b>	41	—
当期純利益	104	<b>1,161</b>	1,057	1,016.2%

- 2025年3月に会社解散登記完了
- 土地建物を含む固定資産売却益を計上

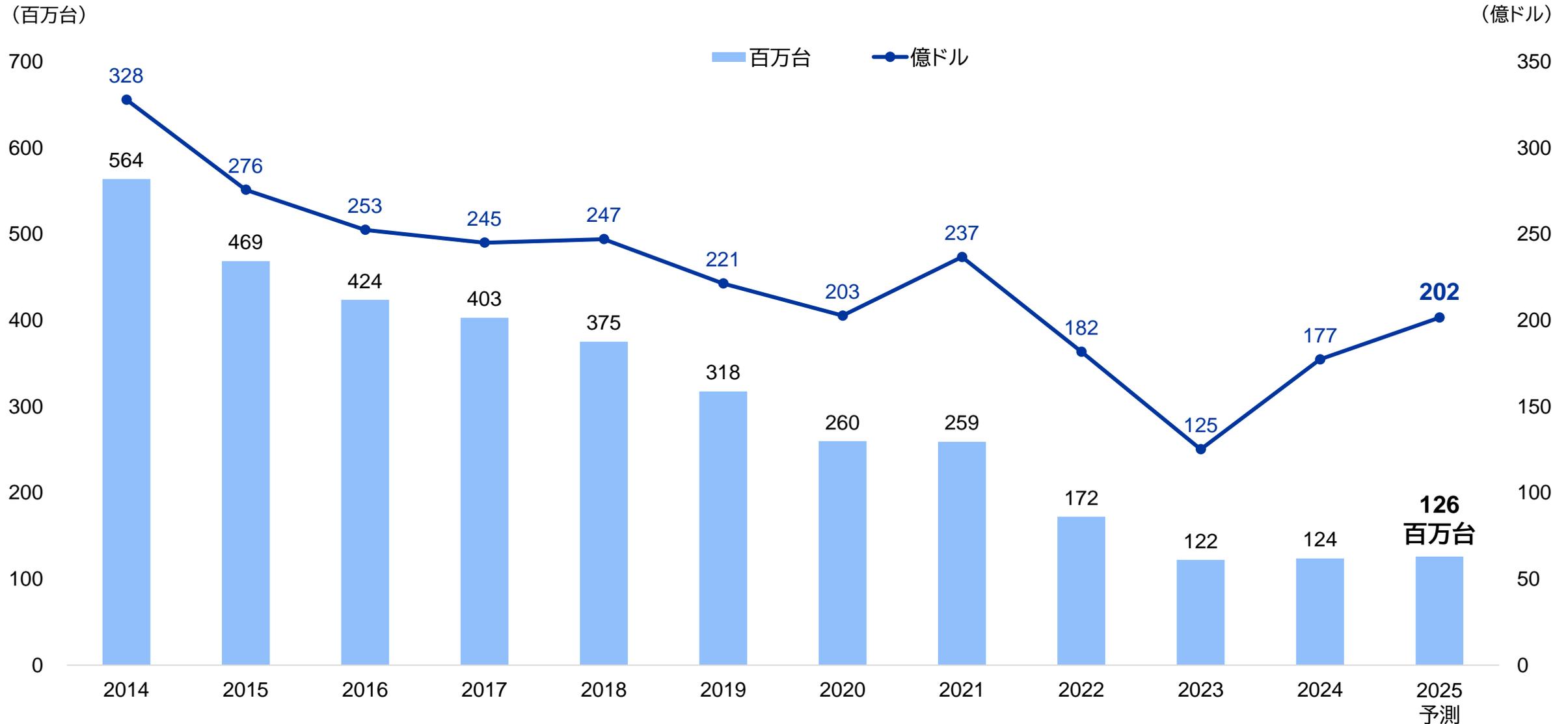
※2023年12月をもって操業停止

## 世界半導体市場規模



資料：WSTS(世界半導体市場統計) より引用

## 世界HDD市場規模(出荷台数、出荷額)



資料：テクノ・システム・リサーチ より引用

# 半導体関連事業・その他事業 決算概要

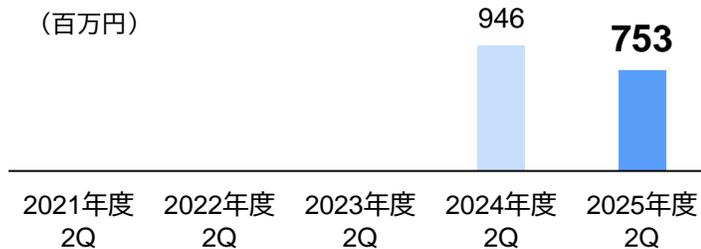
## ● 半導体関連事業

(百万円)

	2024年度2Q	2025年度2Q	前年同期比	増減率
売上高	946	<b>753</b>	△193	△20.4%
営業利益	174	<b>6</b>	△168	△96.2%
利益率(%)	18.4	<b>0.9</b>	△17.5pt	—

### ■ 売上高推移

(百万円)



### ■ 営業利益推移

(百万円)



## ● その他事業

(百万円)

	2024年度2Q	2025年度2Q	前年同期比	増減率
売上高	384	<b>136</b>	△248	△64.6%
営業利益	△11	<b>△56</b>	△45	—
利益率(%)	△3.0	<b>△41.3</b>	△38.3pt	—

### ■ 売上高推移

(百万円)



### ■ 営業利益推移

(百万円)



## 半導体関連事業

減収(売上高前年同期比△20.4%)

- ハードディスク関連の大型案件が完了したことにより減収

## その他事業

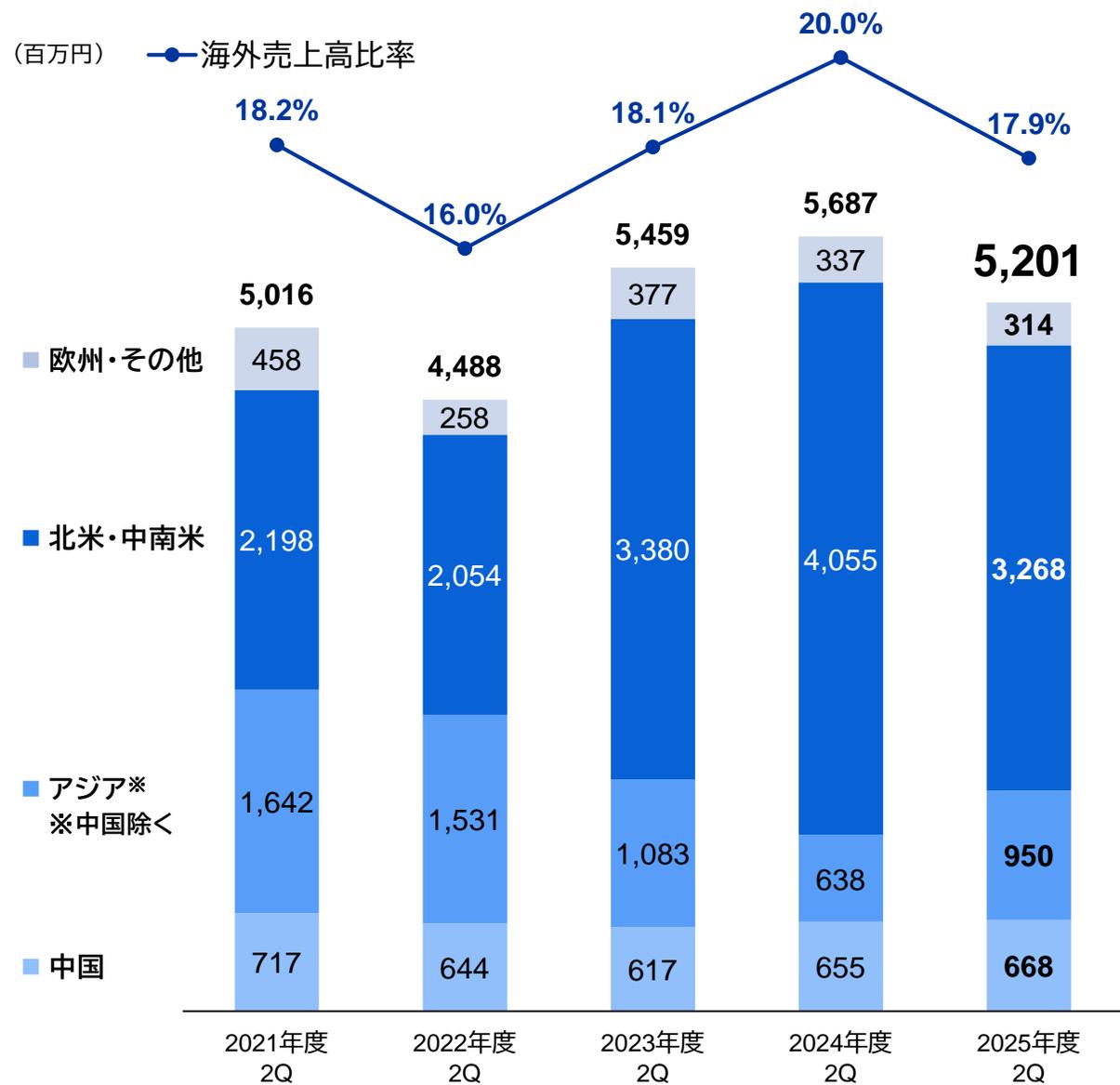
減収(売上高前年同期比△64.6%)

- 特殊工作機械の大型案件の納期期ずれにより減収

(百万円)

	2024年度第2Q	2025年度第2Q	前年同期比
特別利益	35	<b>2,184</b>	2,149
固定資産売却益	35	<b>2,184</b>	2,149
特別損失	—	<b>412</b>	412
固定資産売却損	—	<b>244</b>	244
固定資産除却損	—	<b>168</b>	168
特別損益 合計	35	<b>1,772</b>	1,737

# 連結海外売上高の推移



欧州・  
その他

減収(売上高前年同期比  $\Delta 6.8\%$ )

- 欧州において設備投資が低調に推移し減収

北米・  
中南米

減収(売上高前年同期比  $\Delta 19.4\%$ )

- エンジン車向け部品の出荷低調によりKMEXが減収

アジア※  
※中国除く

増収(売上高前年同期比  $+48.8\%$ )

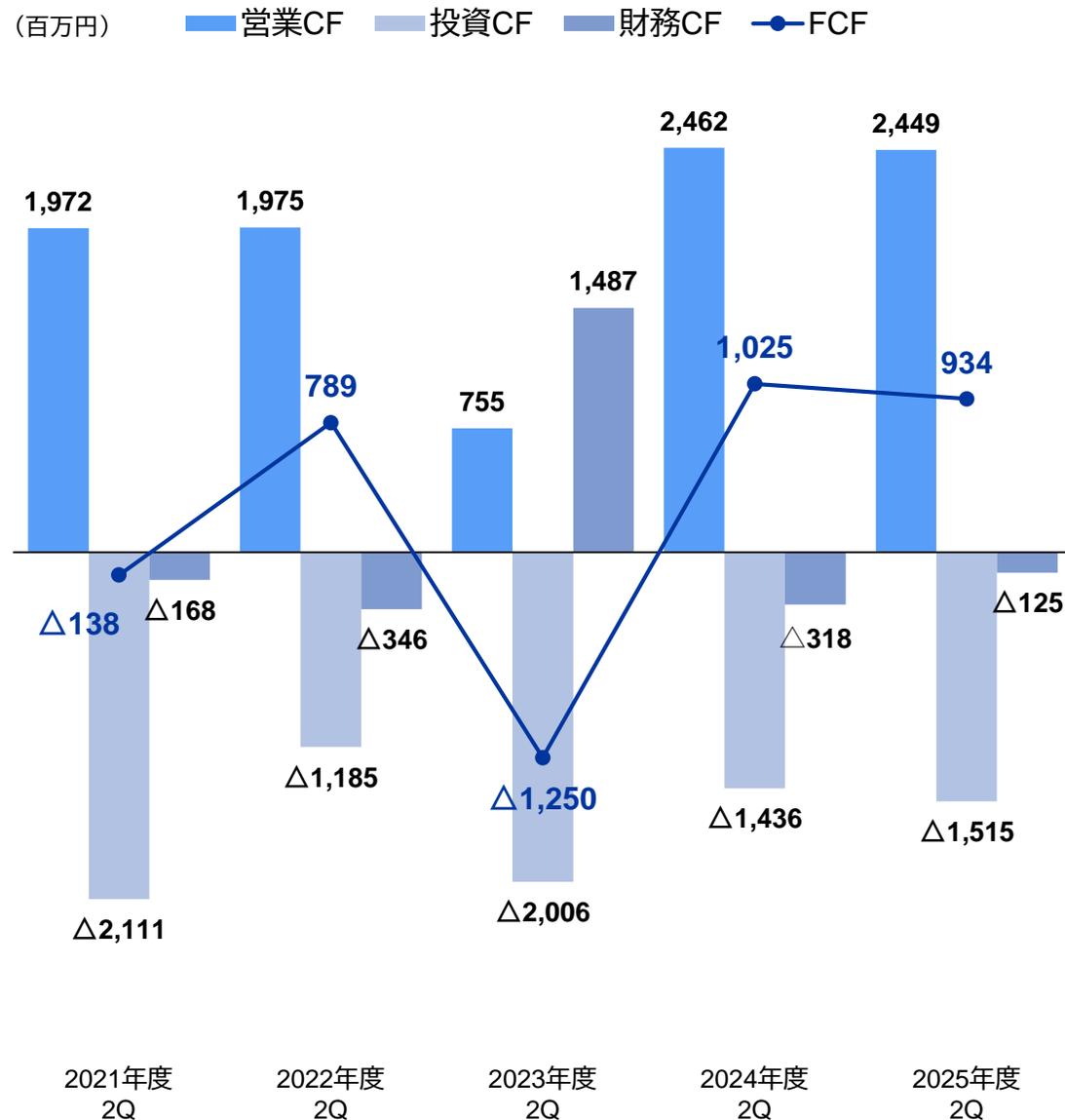
- KGhのインド向け案件の増加により増収

中国

増収(売上高前年同期比  $+1.9\%$ )

- KGhの円テーブル受注増により増収

# 連結キャッシュフロー概要

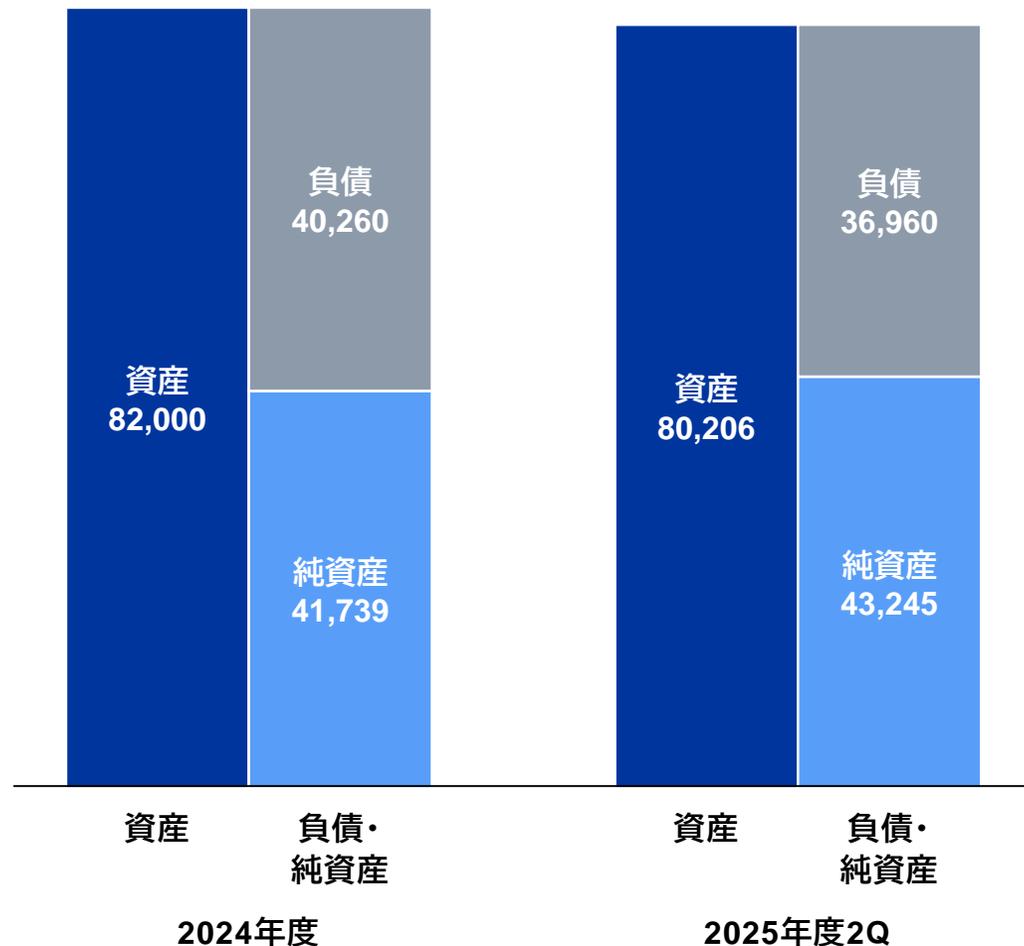


(百万円)

	2024年度2Q	2025年度2Q	前年同期比
営業C/F	2,462	<b>2,449</b>	△13
内: 税前利益	769	<b>3,103</b>	2,334
内: 減価償却費	1,450	<b>1,497</b>	47
内: 有形固定資産売却損益	△35	<b>△1,939</b>	△1,904
内: 運転資金増減	1,032	<b>228</b>	△804
投資C/F	△1,436	<b>△1,515</b>	△79
内: 設備取得支出	△1,739	<b>△1,904</b>	△165
内: 設備売却収入	76	<b>691</b>	615
フリーC/F	1,025	<b>934</b>	△91
財務C/F	△318	<b>△125</b>	193
換算差額	199	<b>△129</b>	328
現金同等物の期末残高	11,274	<b>11,888</b>	614

# 連結貸借対照表概要

(百万円)



(百万円)

	2024年度	2025年度2Q	前年同期比
資産の部	82,000	<b>80,206</b>	△1,794
内:現金預金	11,503	<b>12,186</b>	683
内:売上債権	15,084	<b>14,663</b>	△421
内:棚卸資産	13,750	<b>12,995</b>	△755
内:有形・無形 固定資産	28,234	<b>26,054</b>	△2,180
内:投資その他の資産	12,265	<b>13,330</b>	1,065
負債の部	40,260	<b>36,960</b>	△3,300
内:仕入債務	9,299	<b>8,510</b>	△789
内:有利子負債	14,046	<b>14,136</b>	90
純資産の部	41,739	<b>43,245</b>	1,506
内:自己資本	41,734	<b>43,240</b>	1,506
負債・純資産合計	82,000	<b>80,206</b>	△1,794

03

## 2025年度 業績予想

- 売上高は、その他事業(特殊工作機械)における大型案件の納期期ずれを主因に当初計画比**10億円減の573億円**を見込む
- 営業利益は、工作機器事業、その他事業で減益となるも産業機械事業及び金属素形材事業の増益により当初計画比**2億円増の19億円**を見込む
- 親会社株主に帰属する**当期純利益**は、当初計画と同額の**24億円**を見込む

(百万円)

	2024年度 実績	2025年度 当初計画	2025年度 業績見通し	前期比	当初計画比
売上高	57,280	58,300	<b>57,300</b>	20	△ 1,000
営業利益	1,872	1,700	<b>1,900</b>	28	200
営業利益率(%)	3.3	2.9	<b>3.3</b>	—	0.4pt
経常利益	2,315	1,800	<b>2,000</b>	△ 315	200
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,246	2,400	<b>2,400</b>	1,154	—

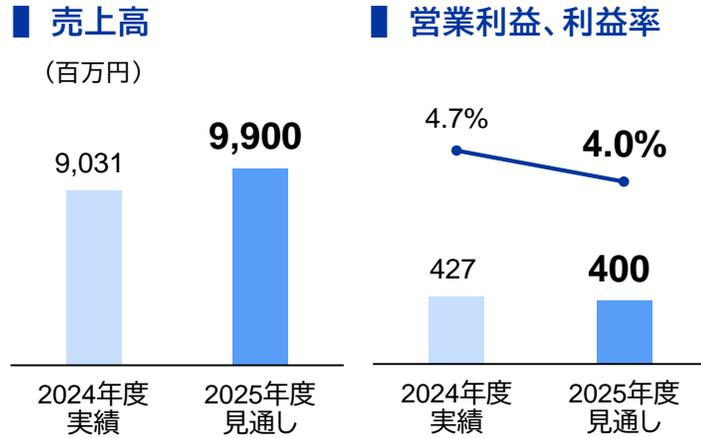
# セグメント別業績予想

(百万円)

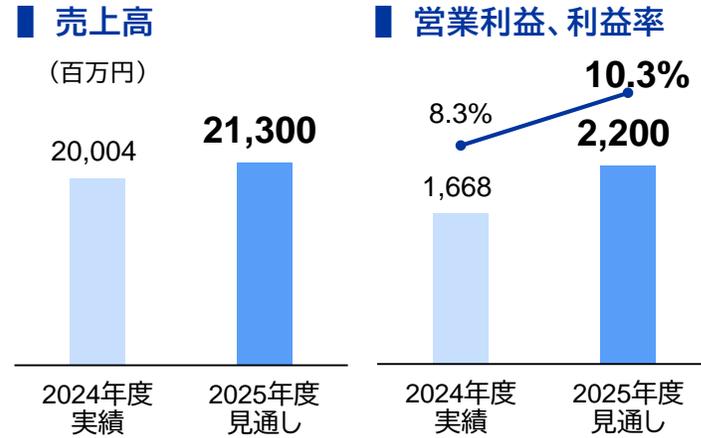
セグメント		2024年度 実績	2025年度 当初計画	2025年度 見通し	前期比	当初計画比
工作機器事業 (KGh)	売上高	9,031	10,400	<b>9,900</b>	869	△ 500
	営業利益	427	710	<b>400</b>	△ 27	△ 310
産業機械事業 (KST)	売上高	20,004	20,800	<b>21,300</b>	1,296	500
	営業利益	1,668	1,970	<b>2,200</b>	532	230
金属素形材事業 (KMT)	売上高	24,725	24,300	<b>24,000</b>	△ 725	△ 300
	営業利益	△ 128	200	<b>500</b>	628	300
半導体関連事業 (KGT)	売上高	2,512	1,550	<b>1,600</b>	△ 912	50
	営業利益	586	0	<b>0</b>	△ 586	0
その他事業	売上高	1,005	1,250	<b>500</b>	△ 505	△ 750
	営業利益	0	130	<b>△ 80</b>	△ 80	△ 210
共通費用	営業利益	△ 681	△ 1,310	<b>△ 1,120</b>	△ 439	190
合計	売上高	57,280	58,300	<b>57,300</b>	20	△ 1,000
	営業利益	1,872	1,700	<b>1,900</b>	28	200

# セグメント別業績予想

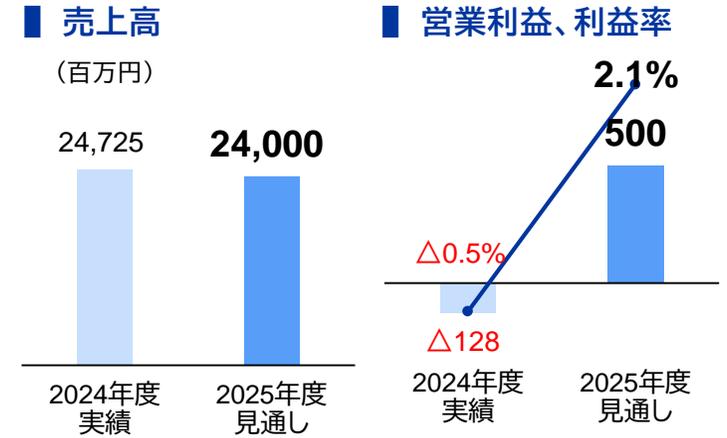
## 工作機器事業 (KGh)



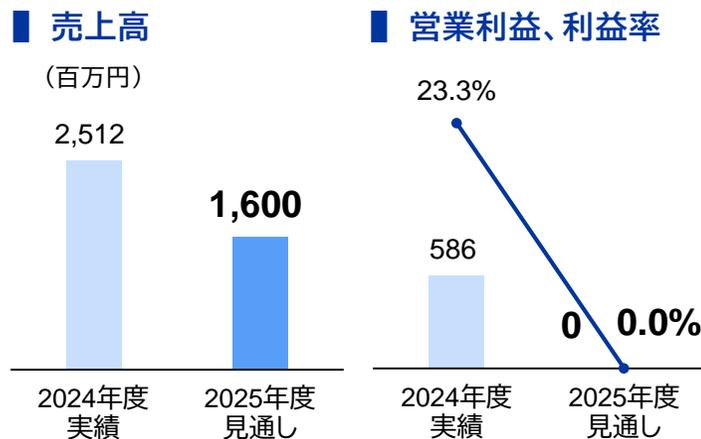
## 産業機械事業 (KST)



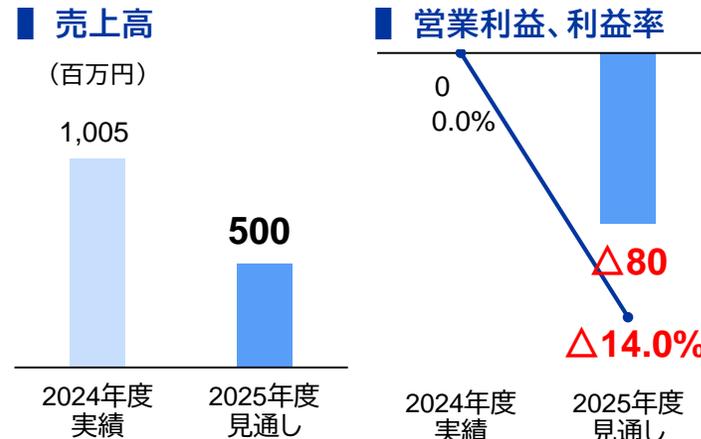
## 金属素形材事業 (KMT)



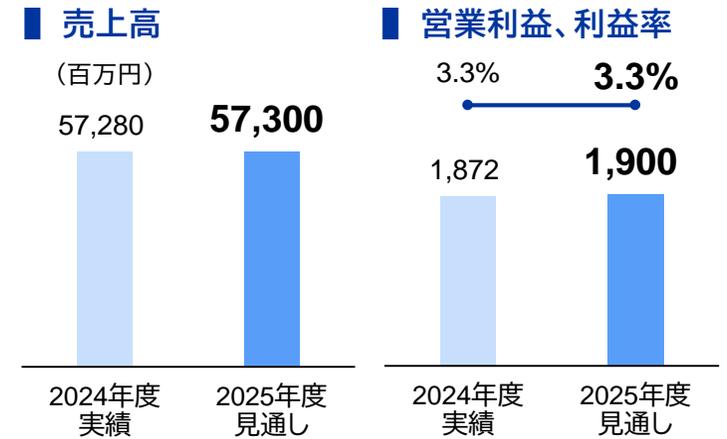
## 半導体関連事業 (KGT)



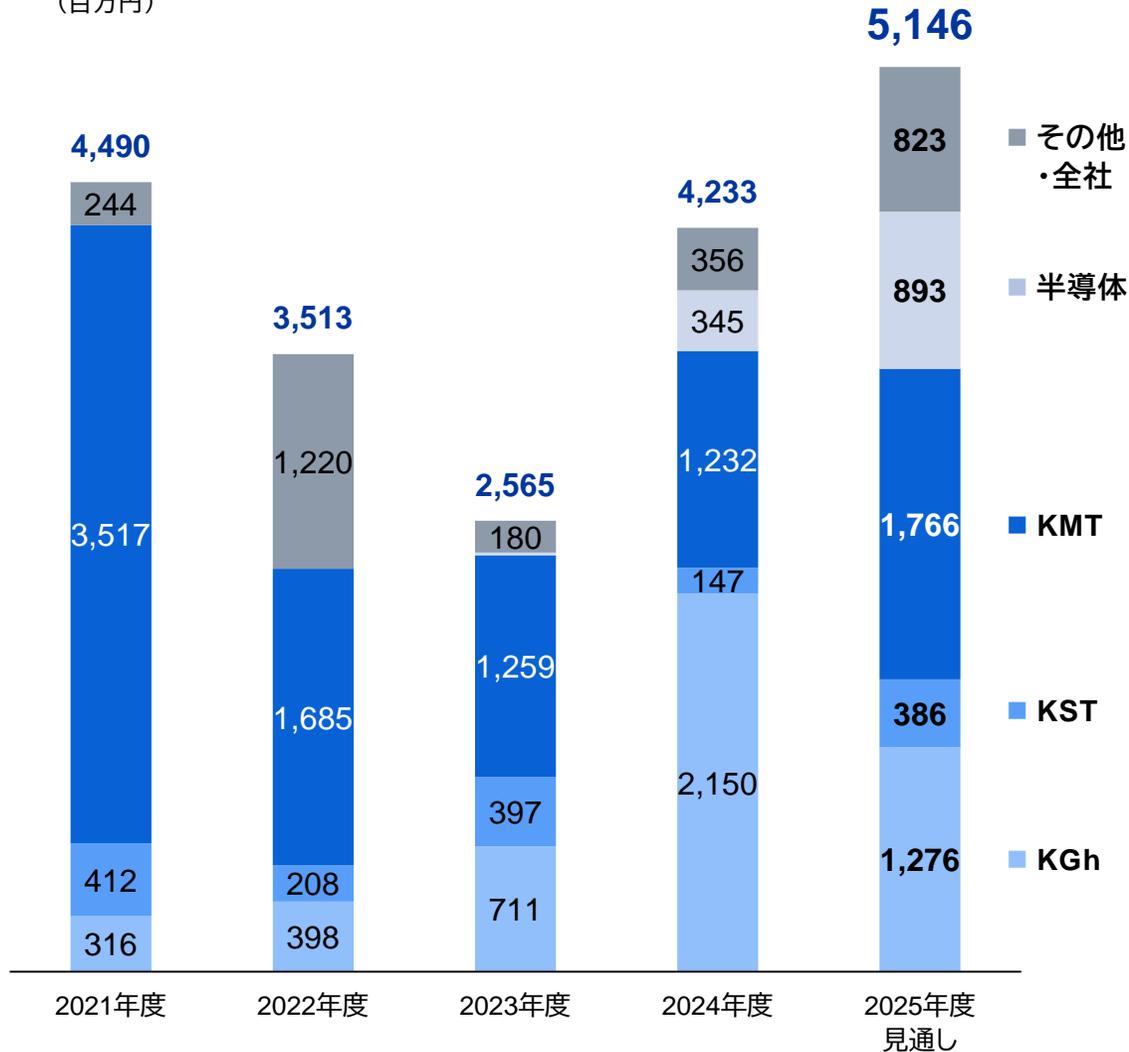
## その他事業



## 合計



(百万円)



成長・改善投資**34億円**など  
年間**51億円**を見込む

- 主要成長投資
  - ✓ 本社再構築関連**6.4億円**(KGh:4.4億円、全社:2億円)
  - ✓ 半導体関連事業の研究開発・試作 **7億円**(工場、設備等)
  - ✓ KGh省人化・生産性向上 **2億円**
  - ✓ 全社DX関連 **1億円**

	2024年度実績	2025年度見通し	前期比
KGhカンパニー	2,150	<b>1,276</b>	△874
KSTカンパニー	147	<b>386</b>	239
KMTカンパニー	1,232	<b>1,766</b>	534
半導体関連事業	345	<b>893</b>	548
その他・全社	356	<b>823</b>	467
設備投資合計	4,233	<b>5,146</b>	913

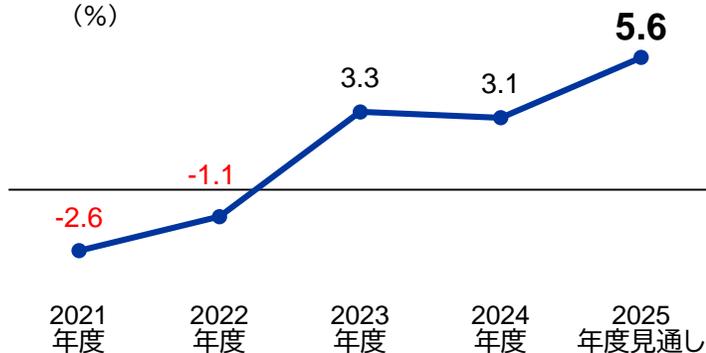
# 主要指標計画値

(百万円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 見通し	前期比
ROE(自己資本利益率)	△2.6	△1.1	3.3	3.1	5.6	+2.5pt
ROIC(投下資本利益率)	3.4	0.3	2.7	3.0	3.0	0.0pt
Cap比率(キャピタリゼーション比率)	26.9	27.3	28.9	25.2	24.4	△0.8pt
EBITDA(償却前営業利益)	5,950	3,415	5,176	4,981	5,054	73

## ROE

(%)



## ROIC

(%)



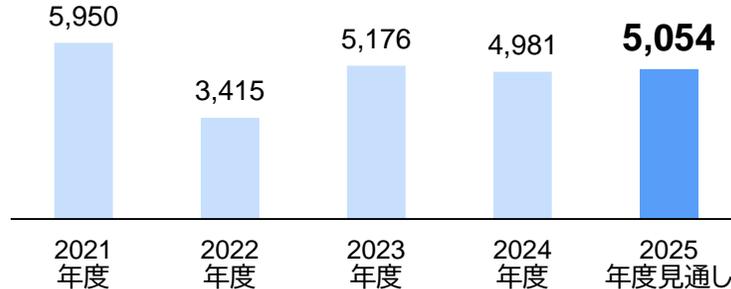
## Cap比率

(%)



## EBITDA

(百万円)



- ROE  
固定資産売却などにより当期純利益24億円を計画しており、前期比+2.5pt改善の5.6%を見込む
- ROIC  
前期並の3.0%を見込む
- Cap比率  
自己資本の増加により前期比△0.8ptの24.4%を見込む
- EBITDA  
前期並の50億円を見込む

株主の皆様への更なる利益還元の姿勢を明確化するため、配当方針の変更を実施(2025年4月18日プレスリリース)

- **2025年度配当** 中間配当35円と合わせ、一株当たり年間**78円**(前期比28円増配)を予定

### 基本方針

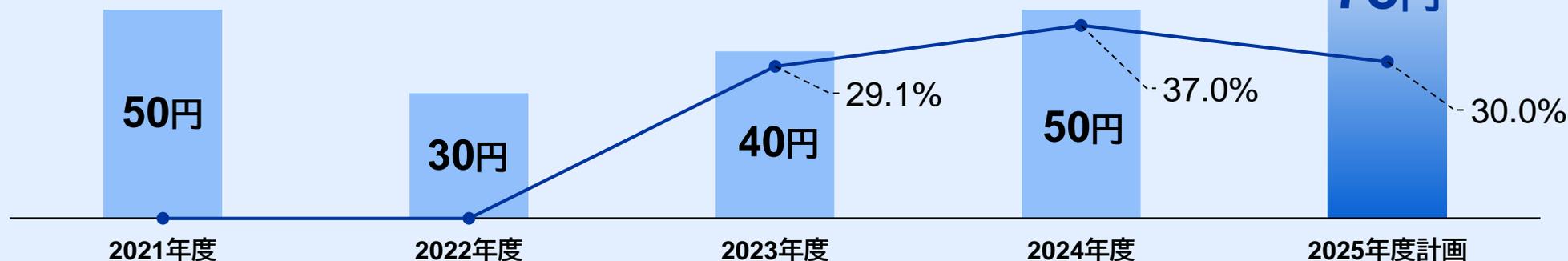
年間50円の安定配当を実施するとともに、利益に応じた段階的な連結配当性向(下表ご参照)による配当を目標に実施

利益に応じて  
**UP**

親会社株主に帰属する当期純利益		株主還元方針
50億円超	—	連結配当性向 <b>40%</b> を目標として還元
35億円超	50億円以下	連結配当性向 <b>35%</b> を目標として還元
15億円超	35億円以下	連結配当性向 <b>30%</b> を目標として還元 ( <b>50円</b> を下限として還元)
—	15億円以下	<b>50円</b> を下限として還元

(従来方針:連結配当性向30%を目標とした安定した配当を継続)

■ 一株当たり配当金(円) ● 配当性向(%)



04

## トピックス

## TOPICS 1

## カーボンニュートラル をめざして 太陽光発電設備を導入



本社工場(2025年6月全稼働)

### 概要

中期経営計画2027 太陽光発電設備設置目標をオンサイトPPAモデル※による太陽光発電設備で達成

- 福山工場、東京工場、甲山工場に続き2025年6月より本社工場において全稼働開始
- “地域との共生” × “世界との共生” により持続的な成長の実現を目指す

※オンサイトPPA(Power Purchase Agreement: 電力販売契約)モデル  
PPA事業者が需要家の敷地内(建物の屋根など)に、太陽光発電設備を設置・所有し、発電した電力を需要家が購入するビジネスモデル

## TOPICS 2

## 床版取替機が エンジニアリング 功労者賞を受賞



### 概要

大成建設(株)と共同で「新方式の床版取替システム※の開発チーム」として一般財団法人エンジニアリング協会のエンジニアリング功労者賞を受賞

- 取替機の組立、検査、解体に掛かる期間と施工期間を大幅短縮
- 高速道路リニューアル工事における工事期間中の道路交通機能の確保(渋滞緩和)を実現

※床版: 橋や高架部などで、車が走る路面を支える板状の構造部材



## 本資料に関するご注意

- 本資料に記載する業績予想などの将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
- このため、様々な要因の変化により、実際の業績とは大きく異なる結果となることをご承知おきください。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず無断の複製・転載をお断りします。

### 問い合わせ先

総務部総務課 IR担当

 電話番号 0847(40)0501

 企業サイト <https://www.kiw.co.jp/>